

# はじめに

いじめや不登校は、どんな学校でも生じており、どう対処し解決したらいいか、誰もが模索し悩んでいます。いじめをはじめとしたこれら課題に対処するために、ハイブリッドな新機軸の方法があると言ったら、皆さんは信じますか？ 怪しいですよね？ そんな方法があるなら誰も苦労しない……。

でも、あるのです！ 相当に効果的な方法があるのです。もちろん解決率100%とは言いませんが、それでも相当に高い解決率が実現できます。

その特徴を簡潔に言えば、子ども同士の力や強みを主体的に活かすこと、問題や原因に言及しない（誰も責めない）こと、望む未来を扱うこと、先生と子どもが協働して取り組むこと、保護者も尊重されることと言えるでしょう。

その方法とは、現在、学校現場でその効果の手応えから実践が広がっている2つのアプローチ、「解決志向アプローチ」と「ピア・サポート」（仲間による相互支援）とを合体させたハイブリッド・モデルです。そしてこの方法は「サポートグループ・アプローチ」と名づけられ、2つの方法の画期的な合体により、学校現場で強い威力を発揮しています。子どもたちは生まれながらの解決志向を持っています。問題や原因について、熱心に扱おうとするのは大人のほうなのです。

さて、本書の構成をお伝えしましょう。

まず、第1章「1時間でわかるサポートグループ・アプローチ」では、解決志向アプローチとピア・サポート、それぞれについてのエッセンスを簡潔に解説します。次にその両者のハイブリッド・モデルであるサポートグループ・アプローチを解説し、さらにこのアプローチを進めるうえで不可欠な、解決志向アプローチの面談の流れをお伝えします。

第2章は「サポートグループ・アプローチ 完全マニュアル」です。7+1のステップの具体的な詳細な解説を行います。「ここがポイント！」を数多く掲載し、海外からの借り物ではない、日本の教育現場の実践に照らした充実した内容です。

第3章「実践例で学ぶサポートグループ・アプローチ」では、文字どおり現場の実践例を通して、このアプローチの魅力と底力を学んでいただきます。

巻末には、実践で使ってすぐ役立てられるワークシートも紹介しています。

Let's サポートグループ・アプローチ！ この方法は小学校・中学校・高校のどの学校種でも使えます。仲間の力を引き出し、子どもも大人も元気になる新たな実践の幕開けです。